



2024年4月22日、『元寇所縁のネットワーク』結成！
現在28団体が加盟。
←当日の様子はこちら

まだまだ
“北”も目指そう！

どこまでも新し。

のべ
264
時間！

34
47
市町村へ！

距離
約**5126**
km！

誰よりも歩いた！松浦市長
264時間、距離約5126km

最終章は「歩く」。

2024年、先頭を切って、誰よりも遠くへ歩を進めたのは友田吉泰・松浦市長でした。市が調査した「元寇を闘った79人（※）の鎌倉武士」に所縁のある自治体Ⅱ関東・関西・四国・九州47市町村の内、34を訪ね歩くこと、のべ264時間、距離にして約5126km！『元寇所縁のネットワーク』結成は、その実りです。すべては、元寇から国を守った先人たちの活躍をあらためて掘り起こし、磨き上げ、結びついた元寇所縁の各地域が共に活性化することで、世界のあらゆる地域で争いが絶え間なく続く今、対立を乗り越える日本の姿勢を広く世界へメッセージするため！

* 松浦市独自調べ（2024年現在）

モンゴルへ4270km！
交流を再起動！

市長の歩みは国内に留まらず、2024年8月、かつてのモンゴル帝国の首都・ハラホリン（カラコロム）の南、ウブルハンガイ県ホジルト郡へ。モンゴル国内情勢の変化などから長期にわたり途絶えていた交流が、約30年ぶりの復活（※）を遂げました！

2031年、弘安の役後750年へ向け、元寇終焉の地、松浦市の本番へ「再起動」です！

※旧鷹島町（松浦市）は1991年に「姉妹縁組組締結調印」を交わし、民主化後のモンゴル国初となる海外友好都市となり、2000年まで延べ8回交流団を派遣するなど交流を深めていた。2023年にホジルト郡代表団が約30年ぶりの来市を果たし、昨年「姉妹都市提携の交流に関する合意書」の調印式に至った。



2024年8月20日、モンゴル国ウブルハンガイ県ホジルト郡にて『姉妹都市提携の交流に関する合意書』の調印式が執り行われた。

市長が足で稼いだ元寇情報！

熊本市

「寒巖義尹（かんだんぎいん）」という鎌倉時代の僧が、当時九州随一の難所とされていた緑川に橋を架けた（1278年竣工）おかげで、国宝『蒙古襲来絵詞』の主役「竹崎季長」がこの緑川を渡って元寇の戦場・博多へ向かうことができたそう！ この人がいなかったらこの国宝は生まれなかった？！



友田吉泰・松浦市長